# 学校法人　関西大学
# ODLE システム運用編
# 学生向け取扱説明書
# （簡易版）

平成 24 年 10 月 11 日　1.0 版

# 改訂履歴

| 版数 | 章番号 | 区分 | 改訂内容 | 改定日 |
|---|---|---|---|---|
| 1.0 | | | 初版 | 2012/10/11 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

# 目次

1. ODECS システムと ODLE システムとの違い ..... 1

2. 新機能について ..... 2

*2.1. コンピュータの起動・終了 ..... 2*

*2.2. プリント管理 ..... 2*

*2.3. 外部からの個人ファイル利用 ..... 2*

*2.4. リモートデスクトップ ..... 3*

*2.5. パスワード変更 ..... 3*

3. コンピュータの起動・終了手順 ..... 4

*3.1. Windows の利用 ..... 4*

*3.2. Linux の利用 ..... 6*

*3.3. ドライブの割り当て ..... 10*

4. プリント枚数の確認手順 ..... 11

*4.1. プリント枚数の確認 ..... 11*

5. SSLVPN 接続手順 ..... 14

*5.1. OD 教室トップページへアクセス ..... 14*

*5.2. SSLVPN 接続 ..... 15*

*5.3. ファイルサーバの利用 ..... 18*

*5.4. SSLVPN 接続の終了 ..... 21*

6. リモートデスクトップ利用手順 ..... 22

*6.1. リモートデスクトップ接続 ..... 23*

*6.2. 教室選択 ..... 24*

*6.3. 利用パソコン選択 ..... 25*

*6.4. リモートデスクトップの開始と終了（Mac 編） ..... 26*

*6.5. リモートデスクトップ接続の開始と終了（Linux 編） ..... 30*

7.　パスワード変更手順 .....32

*7.1.　パスワード変更 ..... 32*

# 学生向け取扱説明書

## 1.　ODECS システムと ODLE システムとの違い

ODECS システムと ODLE システムとの相違点の一覧を記述します。

| 項目 | 旧システム<br>（ODECS システム） | 新システム<br>（ODLE システム） | 備考 |
|---|---|---|---|
| OS（Windows） | WindowsVista<br>Buisiness　　32bit | Windows7<br>Professional　　64bit | |
| OS(Linux) | Fedora Core 8 | Ubuntu11.04 | |
| OS の切替 | VMware | VMware | |
| DVD ドライブ | あり | あり | |
| USB 端子の位置 | モニタ横、PC 筐体前面、PC 筐体背面 | PC 筐体前面、PC 筐体背面 | 新システムでは、前面 4 箇所、背面 4 箇所に計 8 つの空きポートが有ります。 |
| ファイルサーバの個人領域容量 | 200MB（学生）<br>400MB（教員） | 1GB（学生）<br>2GB（教員） | 新システムでは、学生の個人領域の容量を最大 1GB、教員では最大 2GB の容量を確保しています。 |
| M ドライブ、N ドライブの自動消去 | 有り | 有り | 教材を保存しておく M ドライブと学生が提出する課題等を保存しておく N ドライブは毎週日曜日に自動的にファイルを消去します。 |
| 印刷枚数の上限管理 | 有り | 有り | 新システムでは、学生の印刷枚数の上限管理を行っています。<br>現状の設定は 1 ヶ月にモノクロ 180 枚、カラー20 枚の計 200 枚となっています。なお、教員は無制限となっています。 |
| VPN 接続 | 100 同時ユーザ接続 | 100 同時ユーザ接続 | 新システムでは、100 同時ユーザ接続を有し、OD 教室外からファイルサーバの個人領域へのアクセス、リモートデスクトップ機能を提供します。 |

## 2.　新機能について

ODLE システムで新たに追加･変更された機能について説明します。
新機能・変更部分は以下の通りです。

### 2.1.　コンピュータの起動・終了

ODLE システムでは、学生用パソコンの WindowsOS が Windows 7 Professional になります。
Linux OS は、Ubuntu11.04 になります。
教員用パソコンおよび学生用パソコンは、Windows マシンとして構成されています。
Linux を利用する際には、VMware WorkStation を利用したエミュレート環境上で Ubuntu11.04 を起動します。
詳細な利用方法は「**3.　コンピュータの起動･終了手順**」に記述しています。

### 2.2.　プリント管理

ODLE システムでは、各 OD 教室利用者のプリント管理を行っています。
プリンタ管理を利用することで、プリンタ利用者に対して 1 ヵ月間にプリントできる枚数を制限・把握することができます。
学生は自分の印刷枚数の確認を行うことができます。
詳細な利用方法は「**4.　プリント枚数の確認手順**」に記述しています。

### 2.3.　外部からの個人ファイル利用

ODECS システムでは SSLVPN（暗号化通信）装置を利用することで、自宅や研究室などの OD 教室以外から ODECS システムの個人ファイル利用を行ってきました。
ODLE システムでも同じ機能を提供しています。
SSLVPN 接続は、ODLE システムを利用するすべての方が利用可能です。
ODLE システムでは、暗号化された通信状態で以下のサービスを提供しています。

・ODLE システムの個人ファイルへのアクセス（読み・書き・実行）
・リモートデスクトップ（後述）

SSLVPN 接続に関する詳細な利用方法は、「**5.　SSLVPN 接続手順**」に記述しています。

### 2.4.　リモートデスクトップ

リモートデスクトップとは、Windows7 に搭載されているネットワーク経由でパソコン利用を行うための機能です。

この機能を利用すると、WEB ブラウザ上に遠隔地のパソコンの画面を表示させその場にそのパソコンがあるかのように操作を行うことが可能になります。

ODLE システムのパソコン又は、リモートアクセス専用機にリモートデスクトップを行うことで、本来 OD 教室でなければ利用できないアプリケーションやファイルを利用することが可能になります。

リモートデスクトップは、ODLE システムを利用するすべての方が利用可能です。

リモートデスクトップに関する詳細な利用方法は、「**6.　リモートデスクトップ手順**」に記述しています。

### 2.5.　パスワード変更

ODLE システムで、パスワード変更を行う場合、WEB ページからの作業となります。

学生は本人のパスワード変更のみ行えます。

詳細な利用方法は「**7.　パスワード変更手順**」に記述しています。

## 3.　コンピュータの起動・終了手順

### 3.1.　Windows の利用

#### 3.1.1.　Windows の起動

パソコンの電源を入れると、Windows が起動します。

新システムでは起動高速化のために Windows ロゴを表示させない設定にしているため、画面上は何も表示されません。

#### 3.1.2.　Windows の起動完了

起動が終了すると以下の画面が表示されます。

### 3.1.3.　Windows のログオン画面の表示

この画面を Windows のログオン画面といいます。

① Windows を利用するために、以下に従ってログオンを行います。
(1) 利用者のユーザ名（ユーザ ID）を入力します。
(2) パスワードを入力します。
(3) 「 」ボタンをクリックしてください。
(4)
② OS が立ち上がり、デスクトップが表示されます。
マウスのカーソルが「 」から「 」に変わればログオン完了です。

### 3.1.4.　Windows の終了方法

Windows の作業が終了しましたら、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切る場合は、シャットダウンを行う必要があります。
シャットダウンとは、Windows 上のすべてのプログラムを適正な順序で終了させて電源を切ってもデータが失われないような状態にする作業のことです。

### 3.1.5.　シャットダウン

① 画面左下にあります「 」ボタンを左クリックしてください。
以下のメニューが表示されます。
② そこで出てくる画面下段の「シャットダウン」をクリックしてください。

③ すぐにシャットダウンが実行されます。
シャットダウンにはしばらく時間がかかります。
その間「お待ちください…」メッセージが表示されますので少々お待ちください。

パソコン本体の電源が切れれば、シャットダウンが完了です。
本体の電源が消えていることを確認してください。

### 3.2.　Linux の利用

#### 3.2.1.　Linux の利用

学生用パソコンおよび教員用パソコンには、Linux 環境として Ubuntu11.04 がインストールされています。

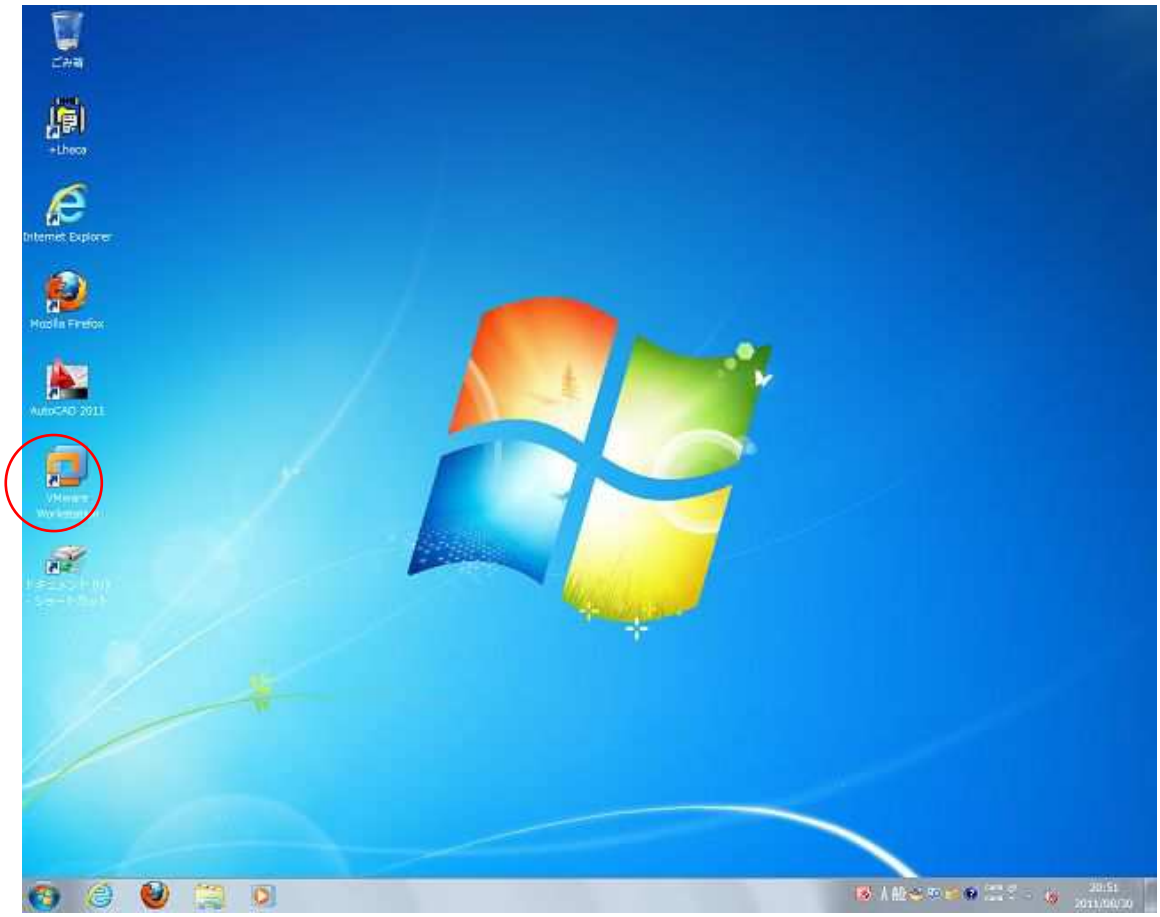
Ubuntu11.04 は、VMware.Inc 社の VMware Workstation を利用して Windows 上で仮想マシンとして起動します。

① Windows を起動します。

手順は「3.4.1. Windows の起動」参照。

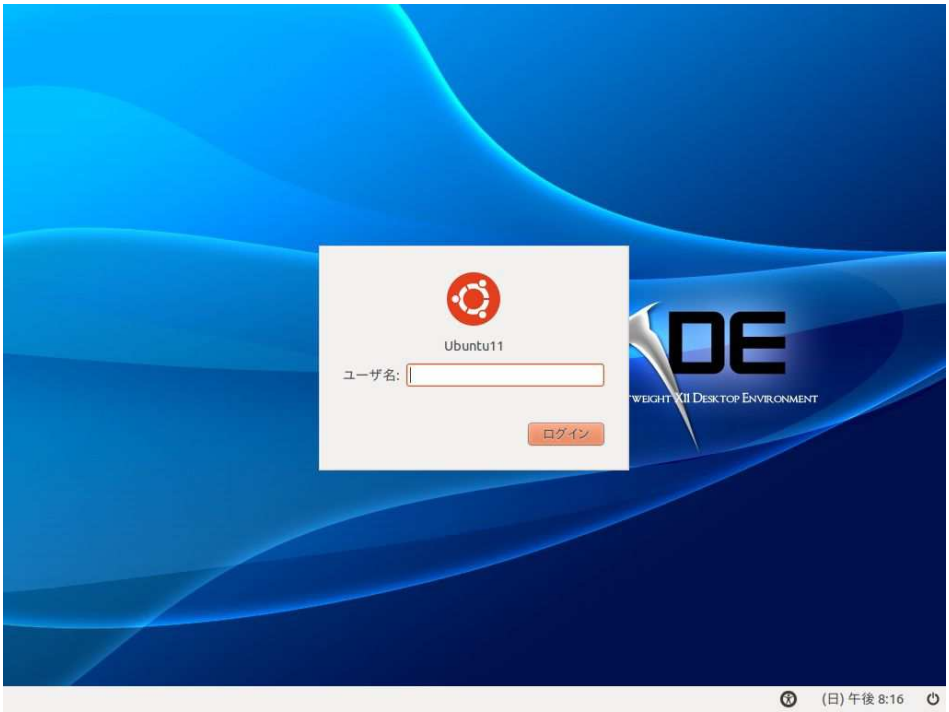
② VMware を起動します。

画面左下にある VMware Workstation というアイコンをダブルクリックしてください。



③　VMware が起動し、Ubuntu11.04 がスタンバイ状態から回復します。

④　スタンバイ状態からの回復後、全画面表示になり Ubuntu11.04 へのログイン画面が表示されます。




ログイン画面で利用者のユーザ名、パスワードを入力すると Ubuntu11.04 が利用可能になります。

### 3.2.2.　Windows へ戻る方法

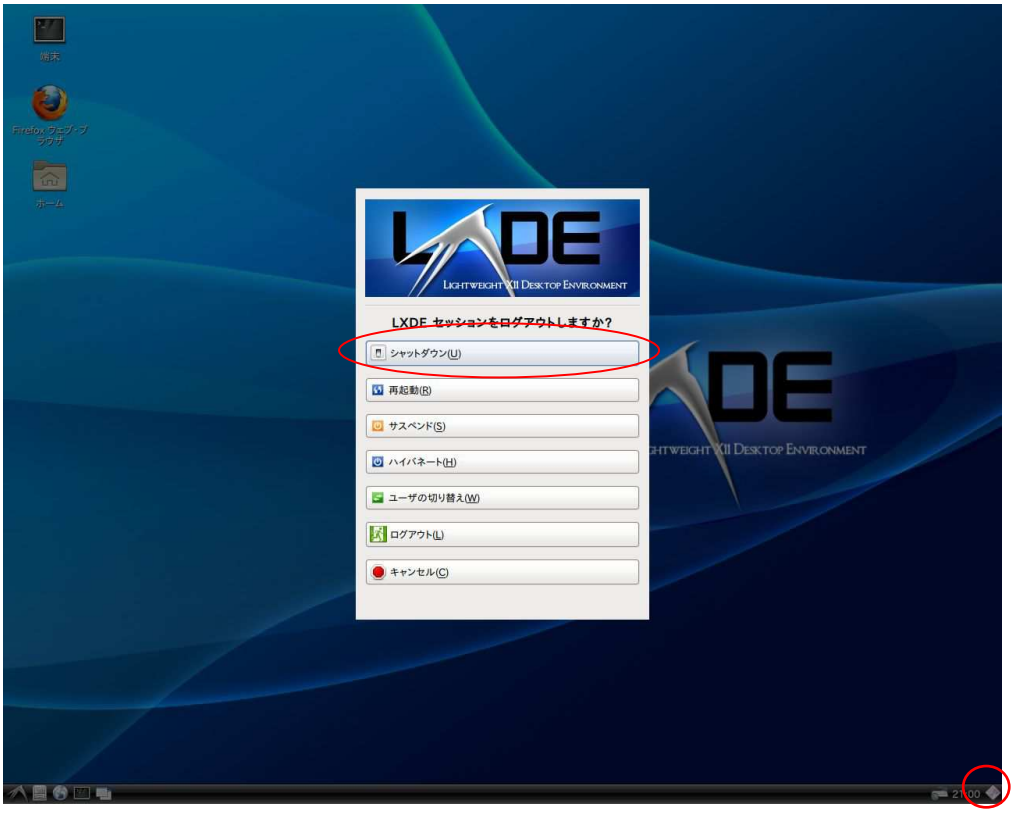
Ubuntu11.04 を起動すると、すべてのキーボード・マウス入力は Ubuntu11.04 への入力とみなされます。
この状態を解除する方法は以下の通りです。

① CTRL キーと ALT キーを同時に押します。

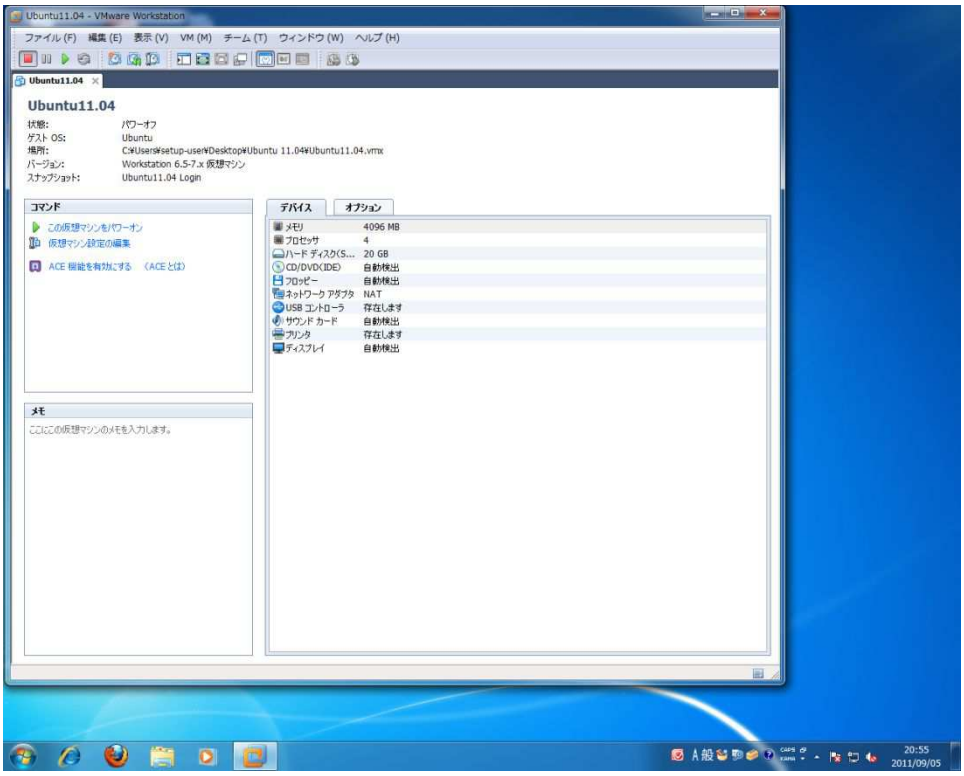
### 3.2.3.　Ubuntu11.04 の終了

Ubuntu11.04 での作業が終わった場合は以下の手順で終了を行います。

① Ubuntu11.04 上で動作するメニューバーの右下のアイコンをクリックします。
LXDE セッションのダイアログから「シャットダウン」をクリックします。



② Ubuntu11.04 のシャットダウンが開始され、終了すると以下の画面になります。




③ VMware を終了します。

VMware Workstation のメニューから「ファイル」→「終了」を選択します。

### 3.2.4. シャットダウン

Linux の作業が終了しましたら、Windows を終了しパソコンの電源を切ります。

手順は「3.4.5. シャットダウン」参照。

### 3.2.5. Linux の環境について

① Linux の MySQL 環境

Linux の MySQL はログインした時点では起動していません。

サービスを起動および停止する方法は以下となります。

起動： 左下のメニュー⇒プログラム⇒Start_MySQL

停止： 左下のメニュー⇒プログラム⇒Stop_MySQL

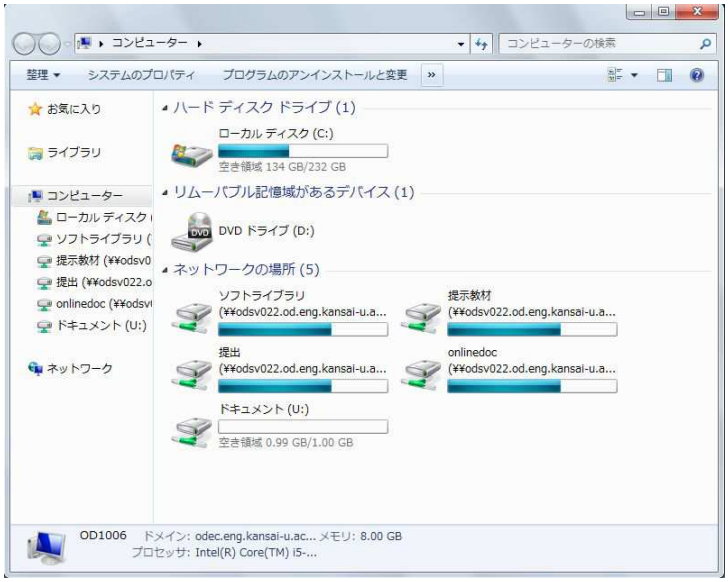
また、MySQL のクライアントは、端末で mysql とコマンドを打つことで起動します。

MySQL の初期データベースは Linux に初めてログインした時点で自動的に作成されます。

### 3.3.　ドライブの割り当て

#### 3.3.1.　ドライブの割り当て

Windows にログオンすると個人用フォルダが自動的に割り当てられます。




自動的に割り当てられるフォルダと用途

| ドライブ | 共有名 | 用途 | アクセス権限 |
|---|---|---|---|
| U: | xxxxx（xxxxx はログオン ID） | 個人用フォルダです。学生は 1GB、教員は 2GB 保存できます。SSLVPN 経由で学外や研究室からもアクセス可能です。 | ログオンした個人のみが読み書き可能です。 |
| M: | 提示教材 | 学生に提示する教材。**毎週日曜日にデータがクリア（削除）されます。**授業で使う教材は U ドライブ（個人フォルダ）で作成し、学生に提示する時にこのフォルダに入れてください。 | 教員、TA は書き込み可能。学生は読み込みのみ可能。 |
| N: | 提出 | 学生が提出する課題など。**毎週日曜日にデータがクリア（削除）されます。**提出された課題などは授業終了時に教員の U ドライブ（個人フォルダ）に移してください。 | 教員、TA、学生とも書き込み可能。 |
| L: | ソフトライブラリ | 授業で一時的に使うフリーソフトなどを格納し、ネットワークドライブを利用したインストールが行えます。 | 教員、TA は書き込み可能。学生は読み込みのみ可能。 |
| O: | onlinedoc | ODLE システム利用方法などのオンラインドキュメントを格納します。 | 読み取り専用 |

## 4.　プリント枚数の確認手順

ODLE システムでは、各 OD 教室利用者のプリンタ管理を行っています。
プリンタ管理を利用することで、プリンタ利用者に対して 1 ヵ月間にプリントできる枚数を制限・把握することができます。
学生は、自分のプリント枚数を確認することができます。
なお、現状の制限値の設定はモノクロ 180 枚/カラー20 枚となっています。

### 4.1.　プリント枚数の確認

プリント枚数の確認は、WEB 画面を利用して行います。

① 普段ご使用になられている Internet Explorer または Mozilla Firefox などの WEB ブラウザを起動します。(以降の説明は Internet Explorer を使用した場合のものです。)

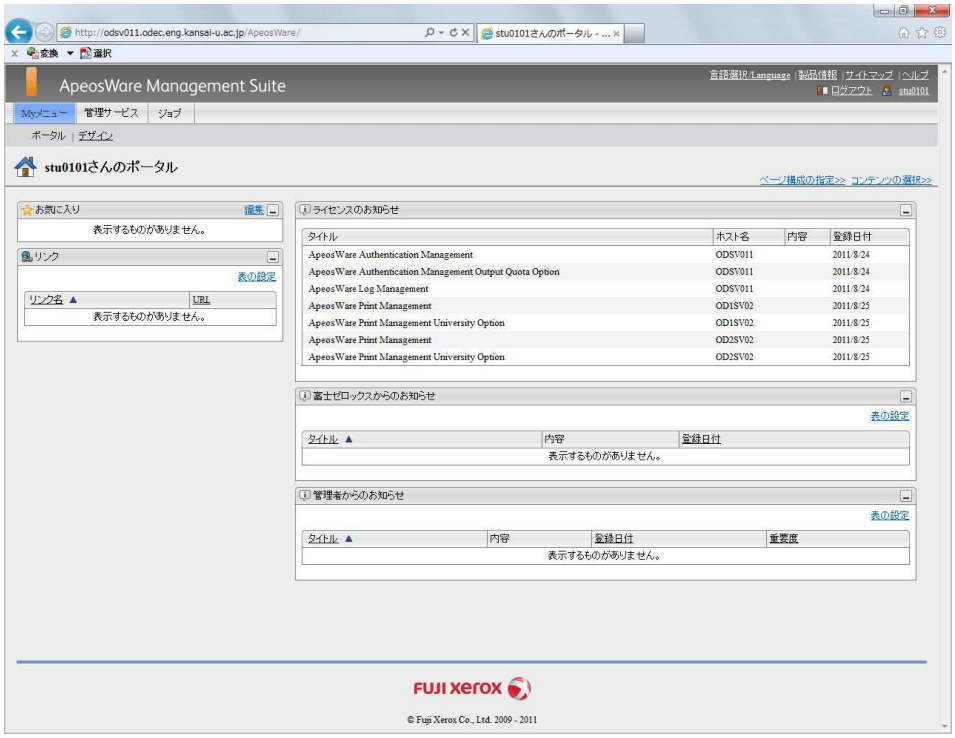
② Internet Explorer のアドレス欄に「OD 教室トップページ」の URL を入力し、Enter キーを押下または Internet Explorer の「移動」ボタンをクリックします。
OD 教室トップページの URL：
http://www.od.eng.kansai-u.ac.jp/

③ 表示されるトップページの左にある「印刷上限値変更」をクリックします。

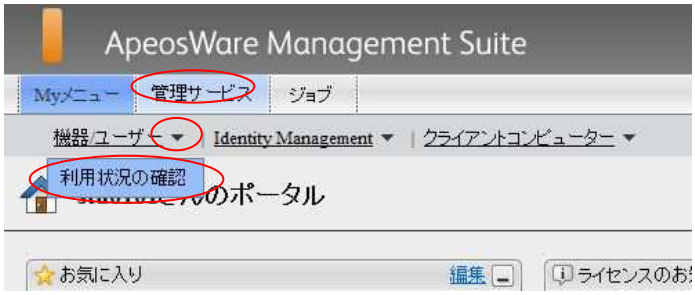
④ ログイン画面が表示されます。
自分のユーザ名・パスワードを入力し、プルタブで「odec.eng.kansai-u.ac.jp」を選択して「ログイン」ボタンをクリックします。

⑤　「警告」画面が表示されます。
「ポータルへ戻る」をクリックしてください。

⑥　ユーザの「ポータル」画面が表示されます。

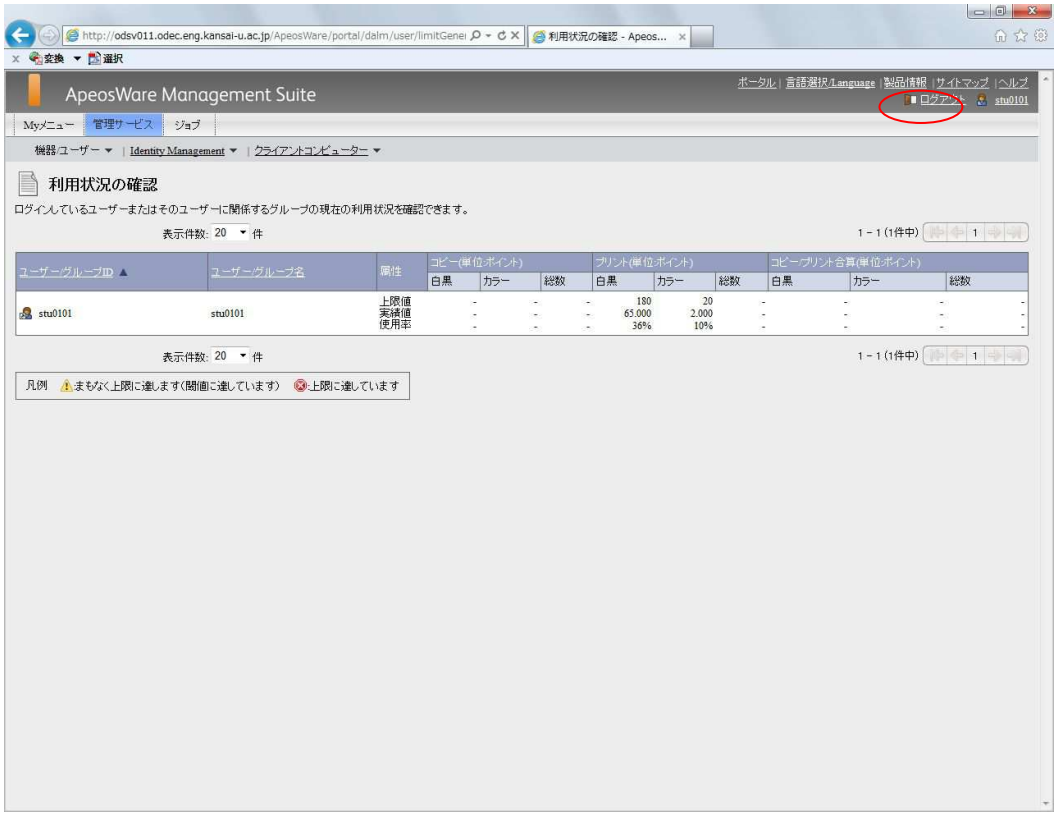



⑦　「ポータル」画面上部の「管理サービス」を選択して表示される「機器/ユーザー」のプルタブから「利用状況の確認」をクリックします。



⑧　「利用状況の確認」画面が表示されます。

確認が終了したら「ログアウト」を選択し、Web ブラウザを閉じます。




１カ月の上限値（モノクロ 180 枚、カラー20 枚）を超えてしまった場合は、教員に申告してください。

## 5.　SSLVPN 接続手順

ODLE システムには、自宅などのリモート環境から OD 教室のファイルサーバを利用することができる SSLVPN 機能が用意されています。

自宅や研究室などから、SSLVPN 装置を経由して ODLE システムへ接続することで、通信経路を暗号化します。

SSLVPN 接続の利用対象者は ODLE システムを利用可能な方です。

### 5.1.　OD 教室トップページへアクセス

SSLVPN 接続を行う場合、まず「OD 教室トップページ」にアクセスします。

「OD 教室トップページ」へのアクセスは以下のようになります。

① 普段ご使用になられている Internet Explorer または Mozilla Firefox などの WEB ブラウザを起動します。(以降の説明は Internet Explorer を使用した場合のものです。)

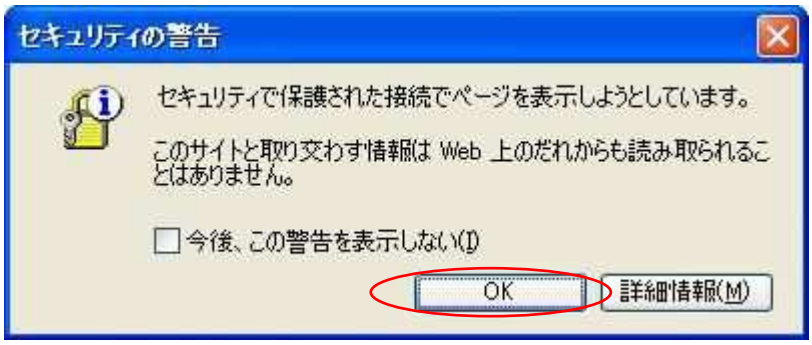
② Internet Explorer のアドレス欄に「OD 教室トップページ」の URL を入力し、Enter キーを押下または Internet Explorer の「移動」ボタンをクリックします。
OD 教室トップページの URL：
http://www.od.eng.kansai-u.ac.jp/

## 5.2. SSLVPN 接続

SSLVPN による接続が行われ暗号化された状態でないと、個人ファイルへのアクセスやリモートデスクトップ機能を利用することはできません。
SSLVPN への接続方法を説明します。

① 表示されるトップページの左にある「学生」から「SSLVPN 接続」をクリックします。

② 暗号化を行うため以下の「セキュリティの警告」ダイアログが表示されることもあります。そのときは「OK」ボタンをクリックしてください。



③　「OD 教室 SSLVPN 接続」画面が表示されます。

SSLVPN 接続を開始するためにユーザ名およびパスワードを入力します。

(1)　ユーザ名を入力します。普段 OD 教室で利用しているログイン ID を入力してください。

(2)　パスワードを入力します。普段 OD 教室で利用しているパスワードを入力してください。

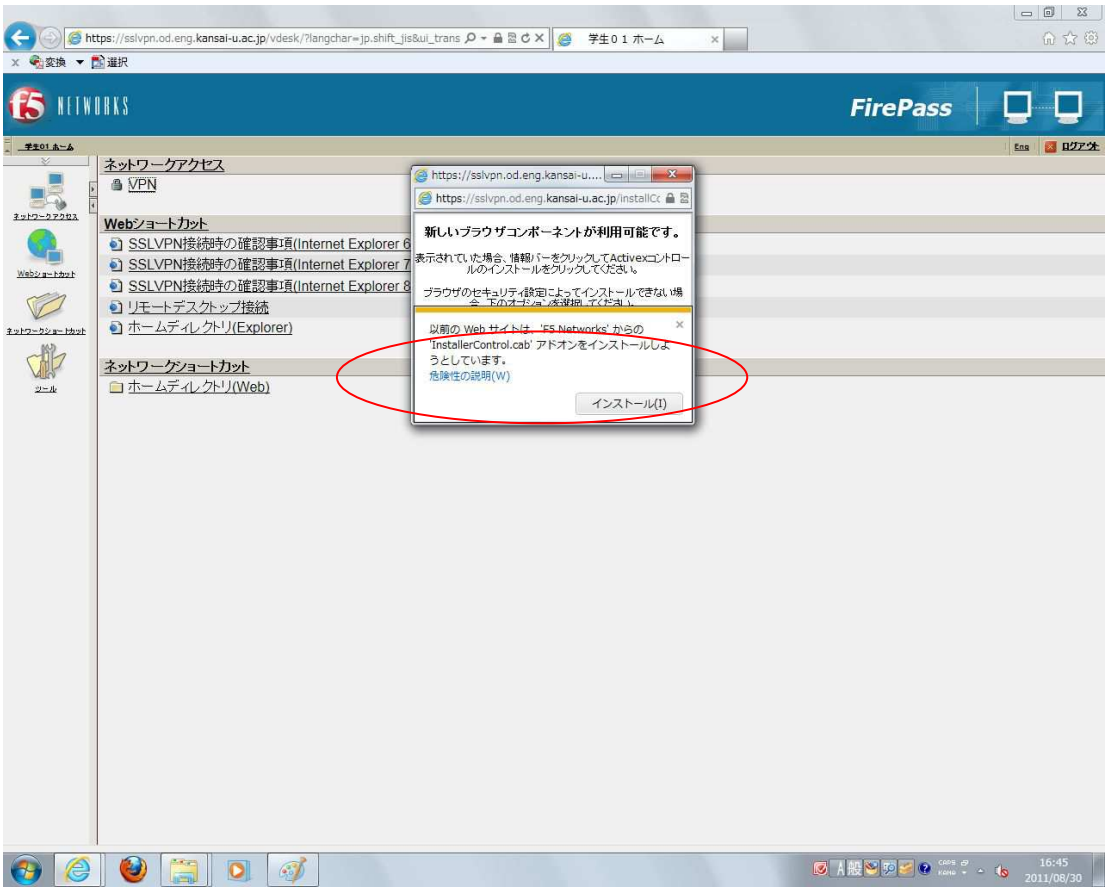
(3)　「ログオン」ボタンをクリックしてください。

④　ユーザ名パスワードによる認証が行われます。

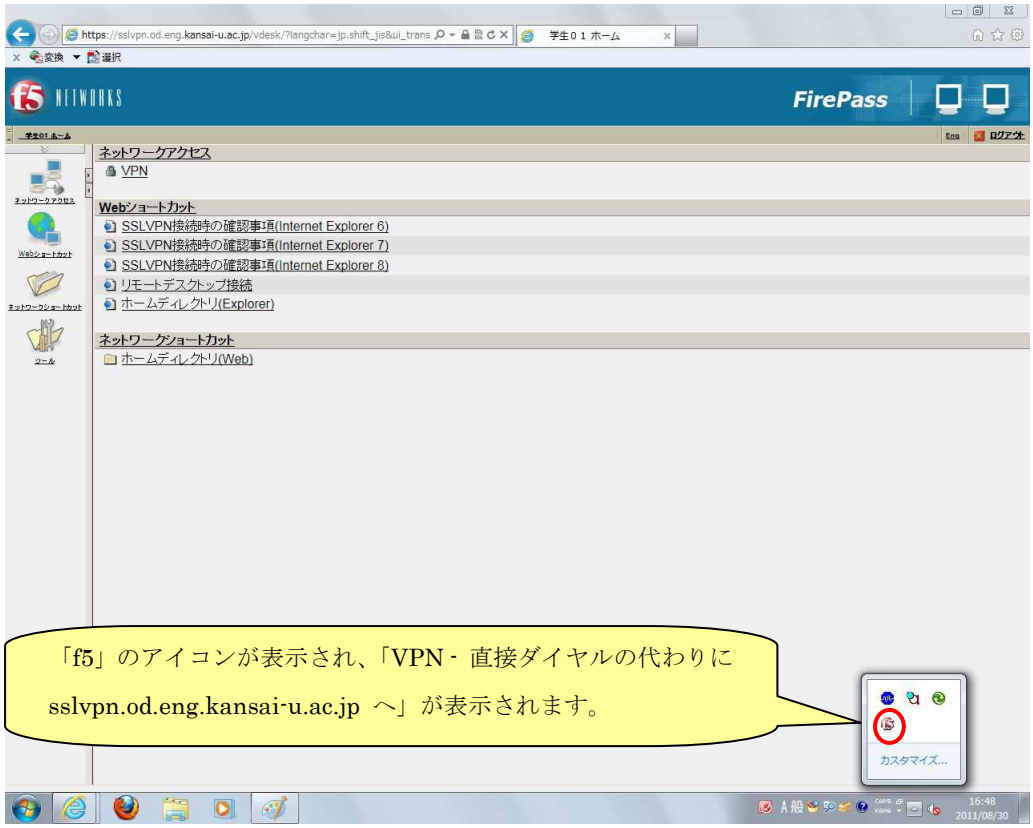
認証が成功すれば SSLVPN 接続を開始します。

初めて SSLVPN に接続する場合、必須プログラムのインストールなどを行うため多少時間がかかります。

※「情報バー」ダイアログの「OK」ボタンをクリックして、「情報バー」より「ActiveX コントロールのインストール」を選択してください。



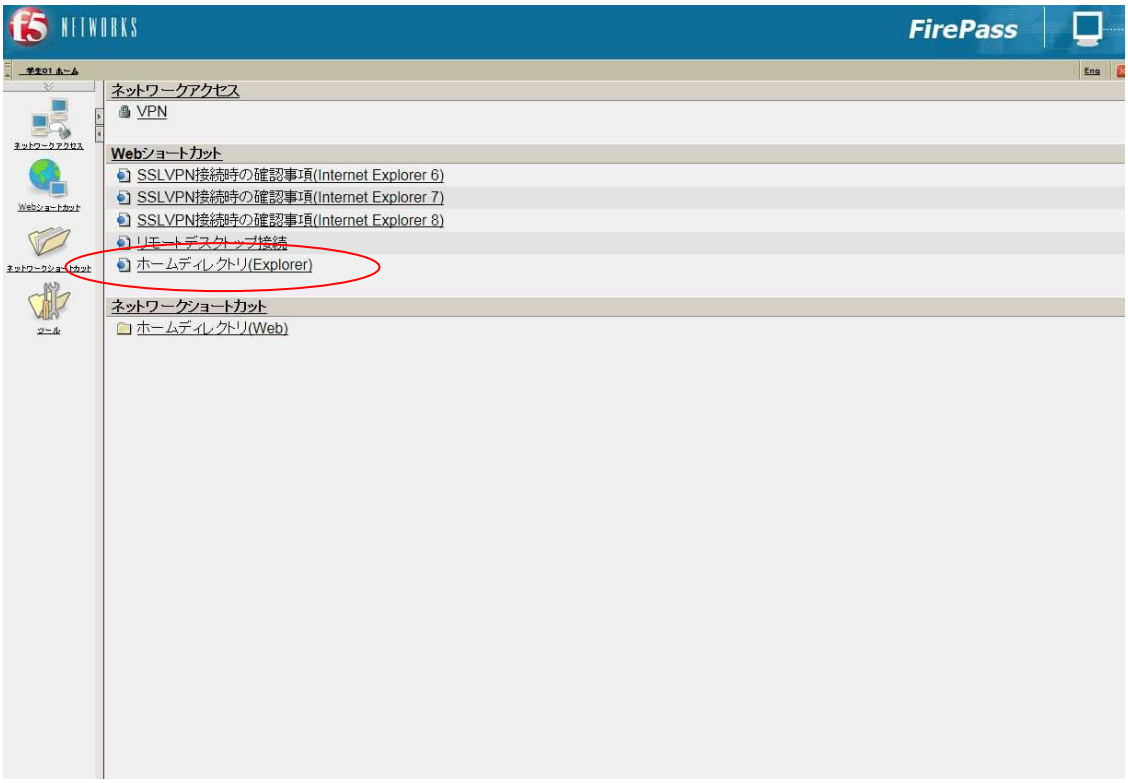
⑤　以下の画面が表示されれば、SSLVPN 接続に成功です。



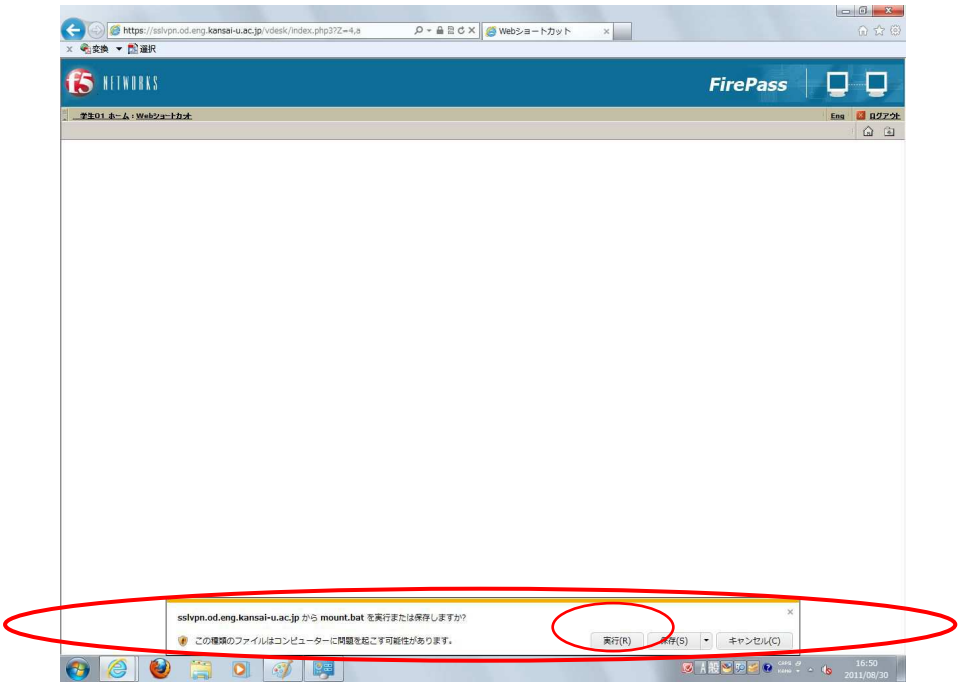
## 5.3.　ファイルサーバの利用

ご利用のパソコンが Windows2000/XP/Vista/7 であれば、エクスプローラによるファイルサーバの利用が可能となります。

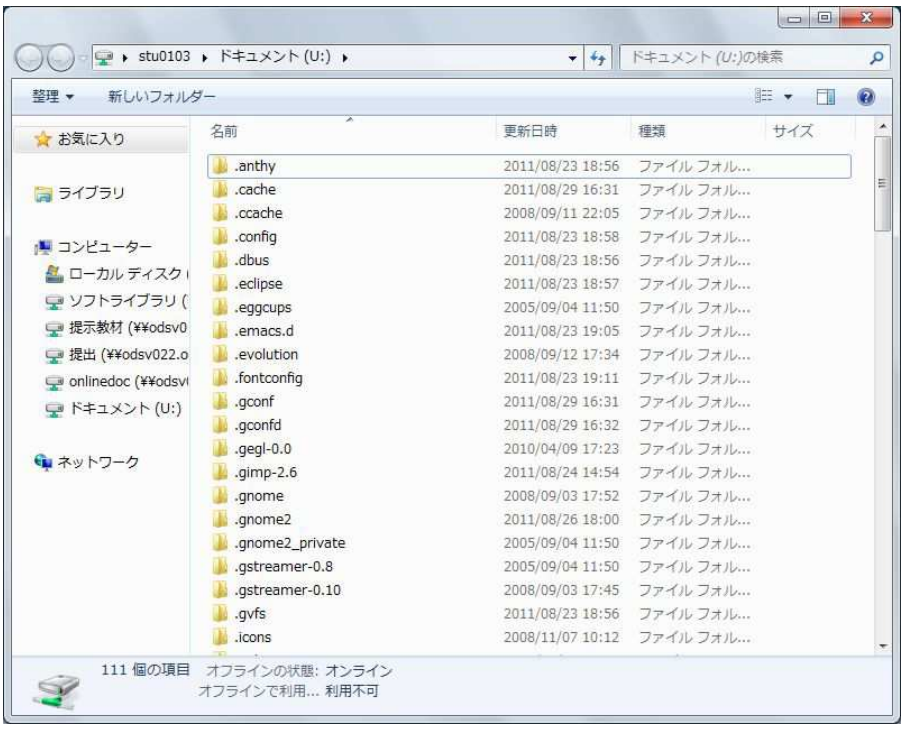
① 表示された SSLVPN ポータルサイトにある「Web ショートカット」から「ホームディレクトリ(Explorer)」をクリックします。



② ファイルダウンロードの「情報バー」と「情報バー」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックして、「情報バー」より「ファイルのダウンロード」を選択してください。

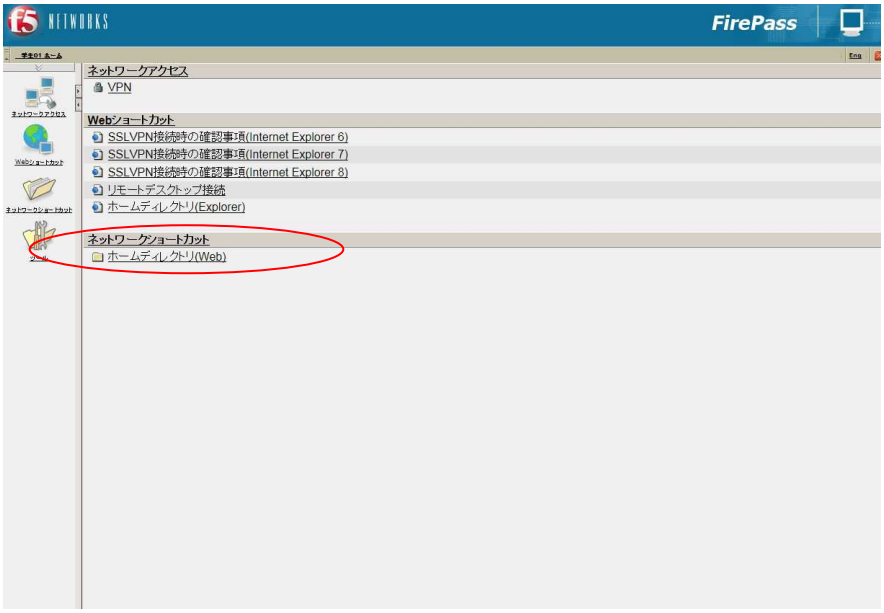



③ エクスプローラにファイルサーバのホームディレクトリが表示され、利用可能となります。

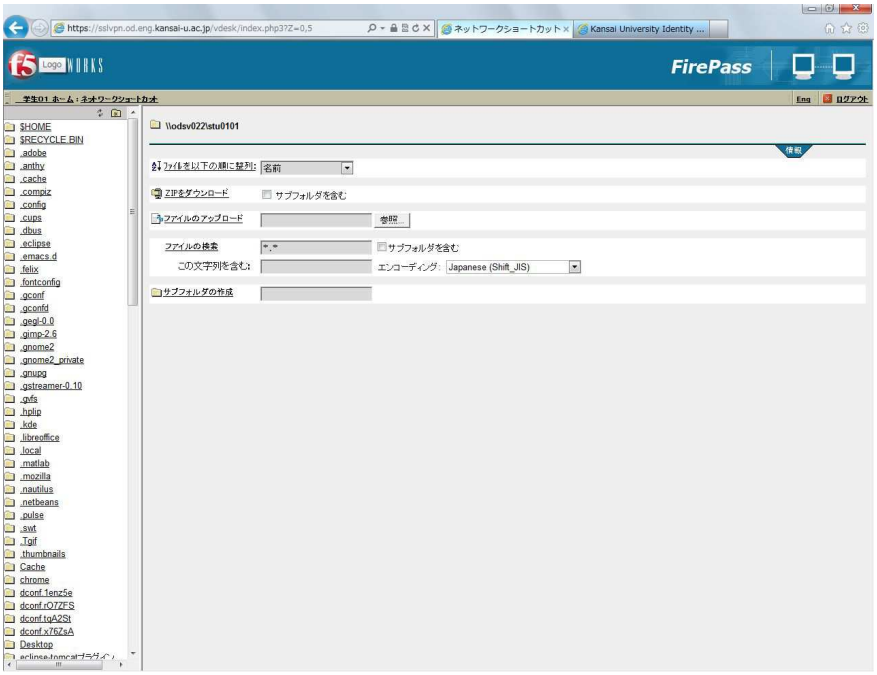


ご利用のパソコンが Windows2000/XP/Vista/7 以外のクライアントは上記方法で接続できない為、Web サービスを利用したファイルサーバの利用が可能となります。
なお、Windows2000/XP/Vista/7 でも Web サービスでのファイルサーバの利用は可能です。

① 表示された SSLVPN ポータルサイトにある「ネットワークショートカット」から「ホームディレクトリ(Web)」をクリックします。



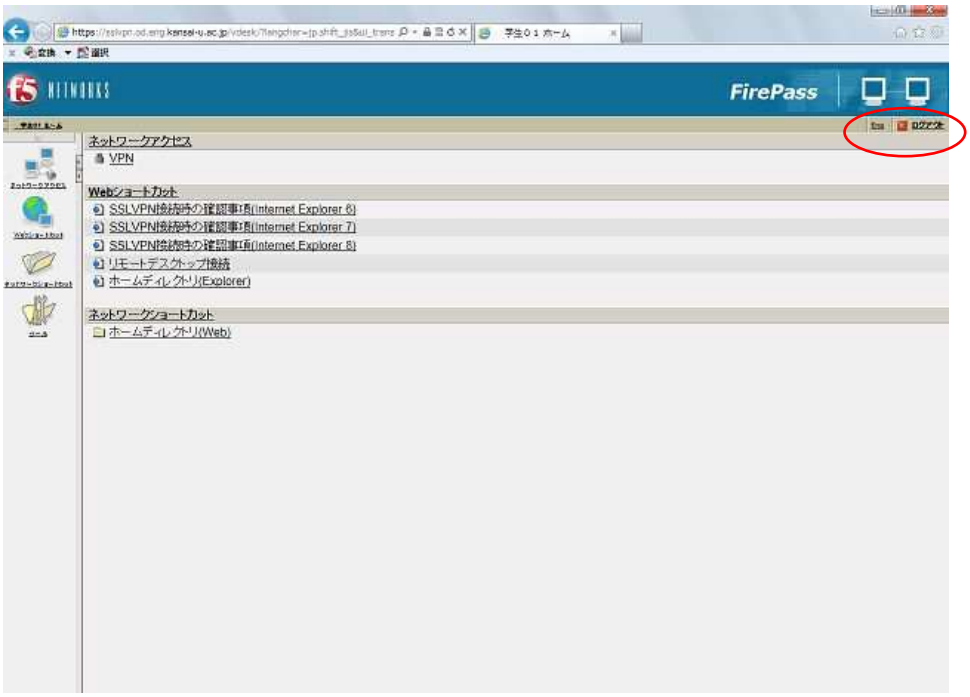

② 左側のフレームにファイルサーバのホームディレクトリが表示され、Web 画面でファイルのアップロード、ダウンロードができます。



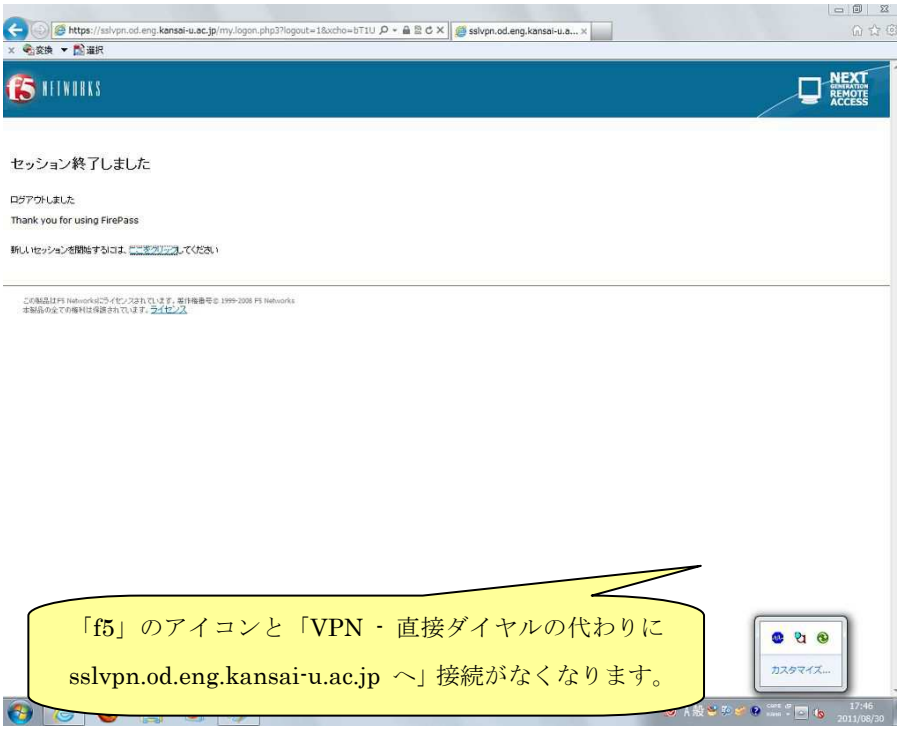
## 5.4.　SSLVPN 接続の終了

SSLVPN サービスを終了する際は、必ずログアウト処理を行います。

① 表示された SSLVPN ポータルサイトにある「ログアウト」をクリックします。




② 以下の画面が表示されれば、終了です。



## 6.　リモートデスクトップ利用手順

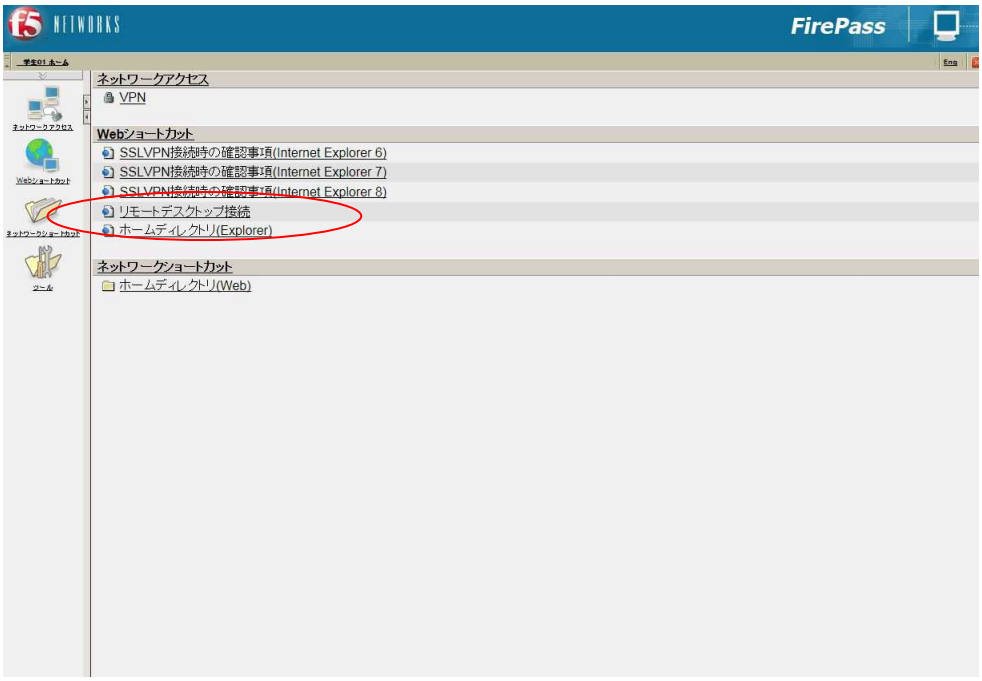
関西大学 ODLE システムには、自宅などのリモート環境から OD 教室のパソコンを利用することができるリモートデスクトップ機能が用意されています。
OD 教室の全パソコンに対してリモートデスクトップが可能になっています。

リモートデスクトップは ODLE システムが利用できる方が対象となります。

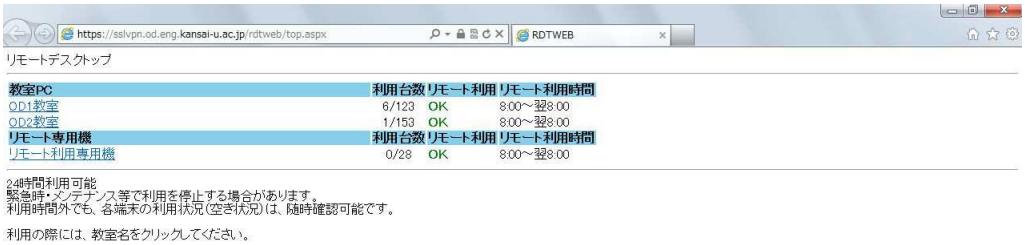
セキュリティの観点から、リモートデスクトップは前述の SSLVPN 接続を行ってからしか利用できません。
ODLE システムのリモートデスクトップでは、リモートデスクトップを行いたいパソコンを選ぶ画面が表示されます。
パソコンを選び、ユーザ ID とパスワードを入力するとリモートデスクトップが開始されます。

## 6.1.　リモートデスクトップ接続

①　「**5.　SSLVPN 接続手順**」に従って SSLVPN 接続を行います。表示された SSLVPN ポータルサイトにある「Web ショートカット」から「リモートデスクトップ接続」をクリックします。

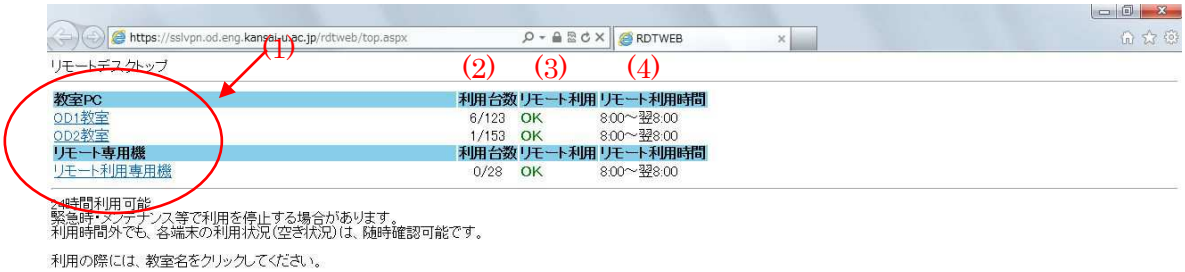



②　「リモートデスクトップ　トップメニュー」が表示されます。



## 6.2.　教室選択

①　「リモートデスクトップ　トップメニュー」からリモート利用可能な教室のリンクを選択します。
利用時間外でも、各端末の利用状況（空き状況）は、随時確認可能です。




表示されている情報の説明

(1)　教室リンク：　このリンクで教室を選択します。

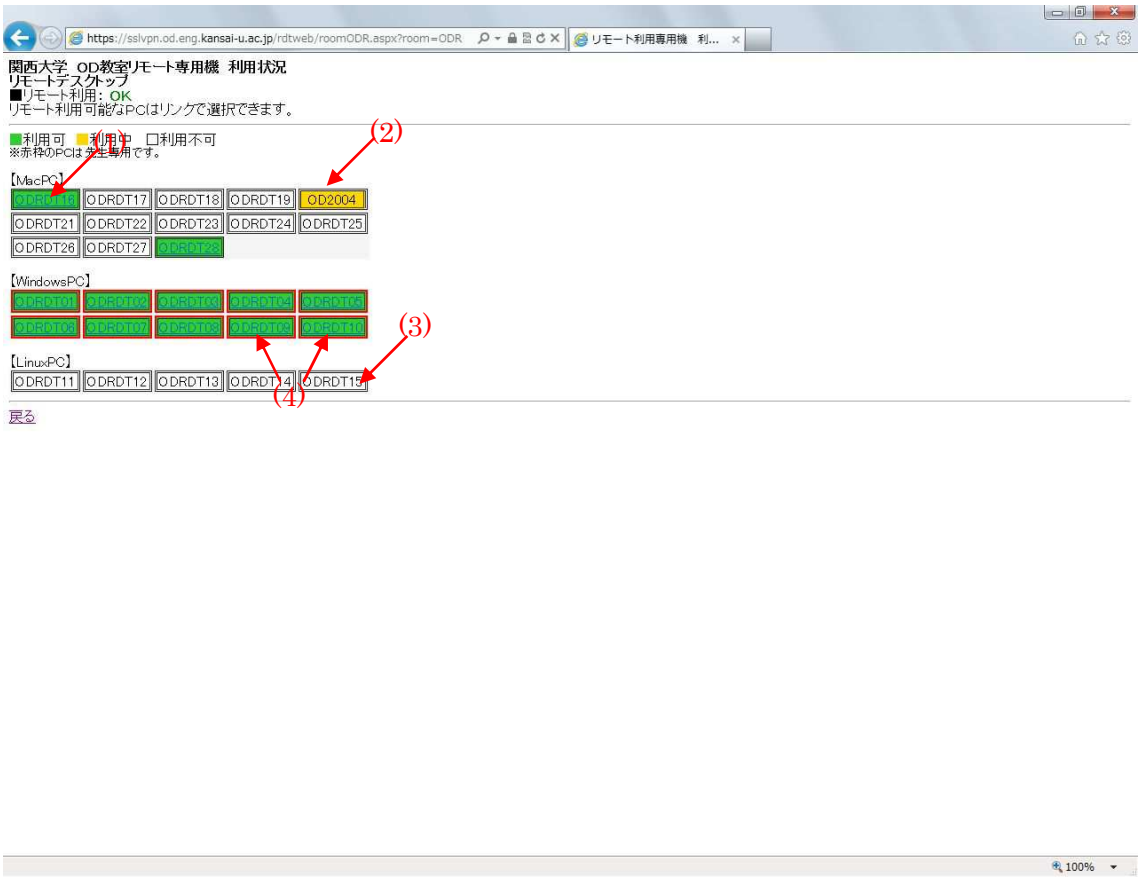
(2)　利用台数：　現在の使用状況です。
前の数値が利用台数、後ろの数値が総台数です。

(3)　リモート利用：　リモートデスクトップサービス状態が表示されます。
前の数値が空き台数、後ろの数値が総台数です。

(4)　リモート利用可能：　リモートデスクトップ接続が可能な時間です。
ここに記述された範囲でリモートデスクトップ接続を利用可能です。

## 6.3.　利用パソコン選択

① 教室利用状況画面から利用可能なパソコンのリンクを選択します。
赤枠の PC は教員専用機です。SSLVPN のログオンアカウントが教員に限り使用（接続）することができます。

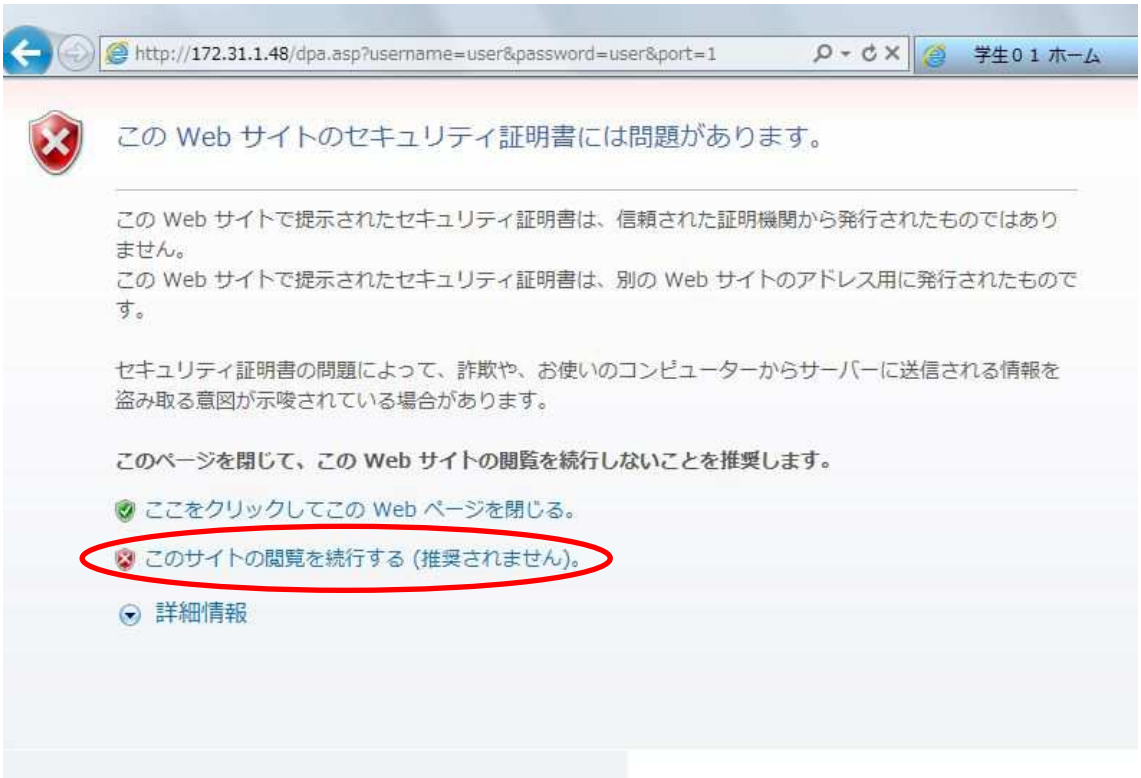



表示されている情報の説明

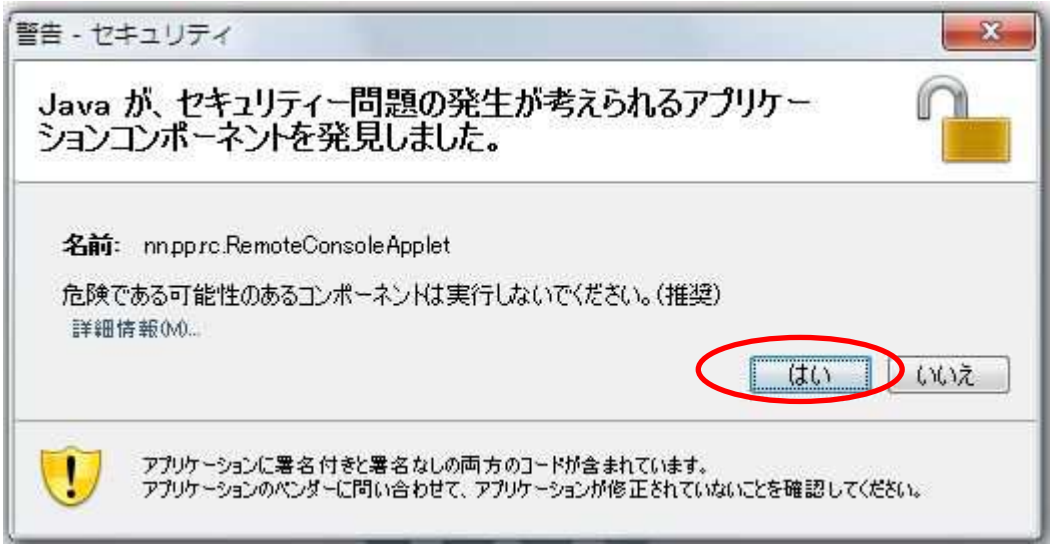
| | | |
|---|---|---|
| (1) | 青色の PC： | 利用可能です。<br>前の数値が利用台数、後ろの数値が総台数です。 |
| (2) | 黄色の PC： | 利用中です。（ログオンされています） |
| (3) | 色なしの PC： | 利用不可です。<br>ここに記述された範囲でリモートデスクトップ接続を利用可能です。 |
| (4) | 赤枠の PC： | 教員専用機です。<br>SSLVPN のログオンが教員に限り使用（接続）することができます。 |

## 6.4.　リモートデスクトップの開始と終了（Mac 編）

① 利用パソコンを選択すると証明書の警告が表示されるので「このサイトの閲覧を続行する」を選択します。




② 続けて Java の警告が表示されるので「はい」を選択します。



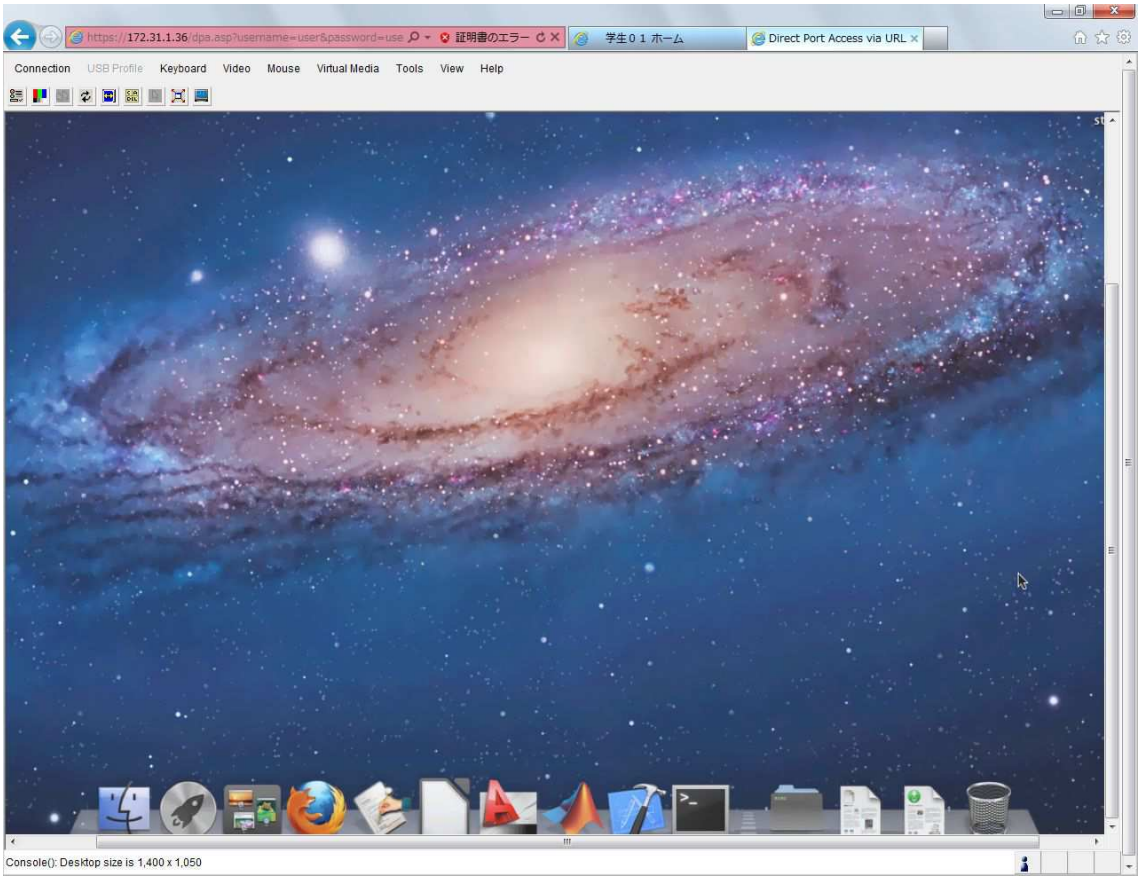
③　リモートデスクトップログオン画面が表示されます。
以下の作業を行ってください。

(1)　「名前」に、OD 教室で利用するユーザ名を入力してください。

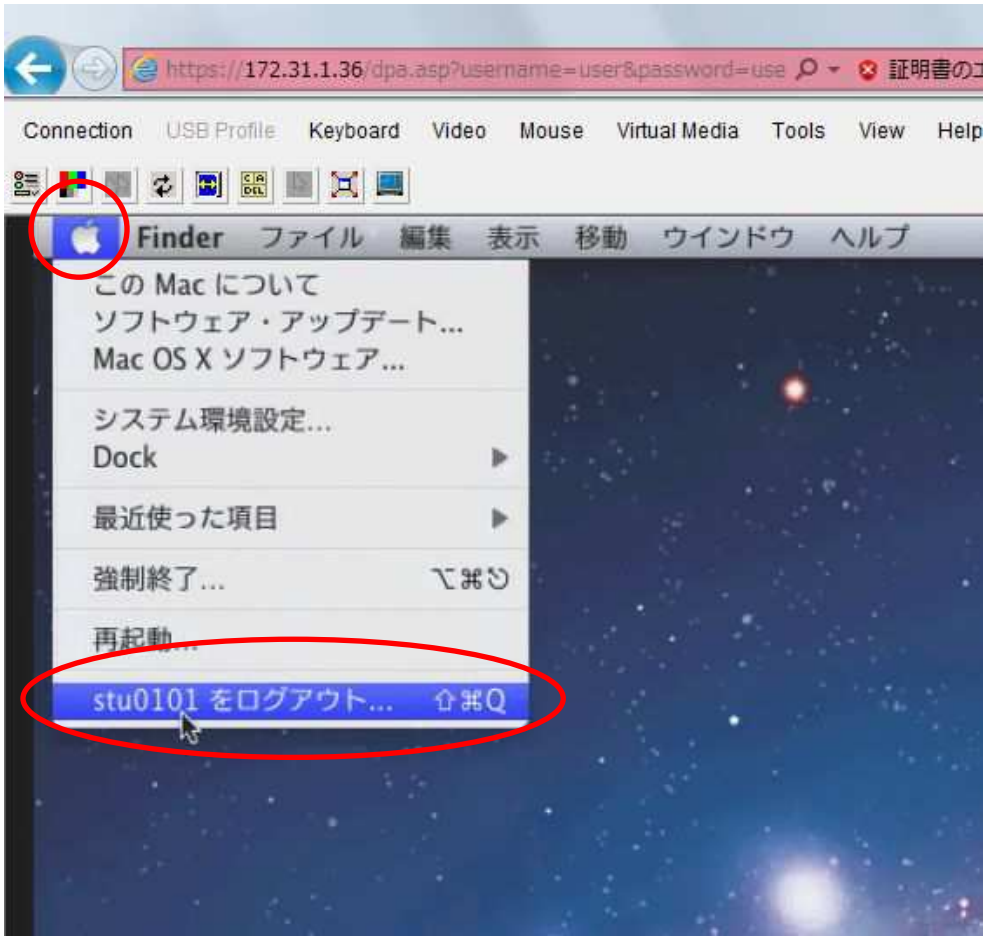
(2)　「パスワード」に、上記ユーザー名のパスワードを入力してください。

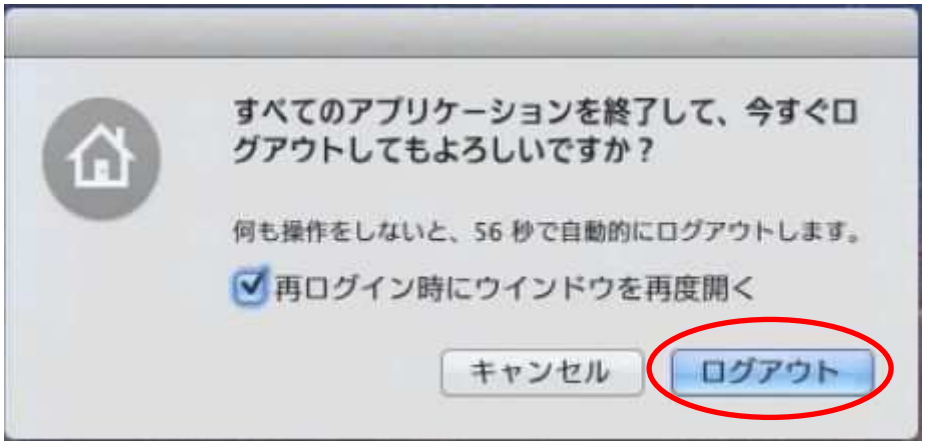
(3)　キーボードの「ENTER」をクリックして下さい。

④　ログオン認証に成功するとリモートデスクトップが開始されます。
リモートデスクトップ接続をしている状態では、ODLE システムで利用できるすべての作業が可能です。

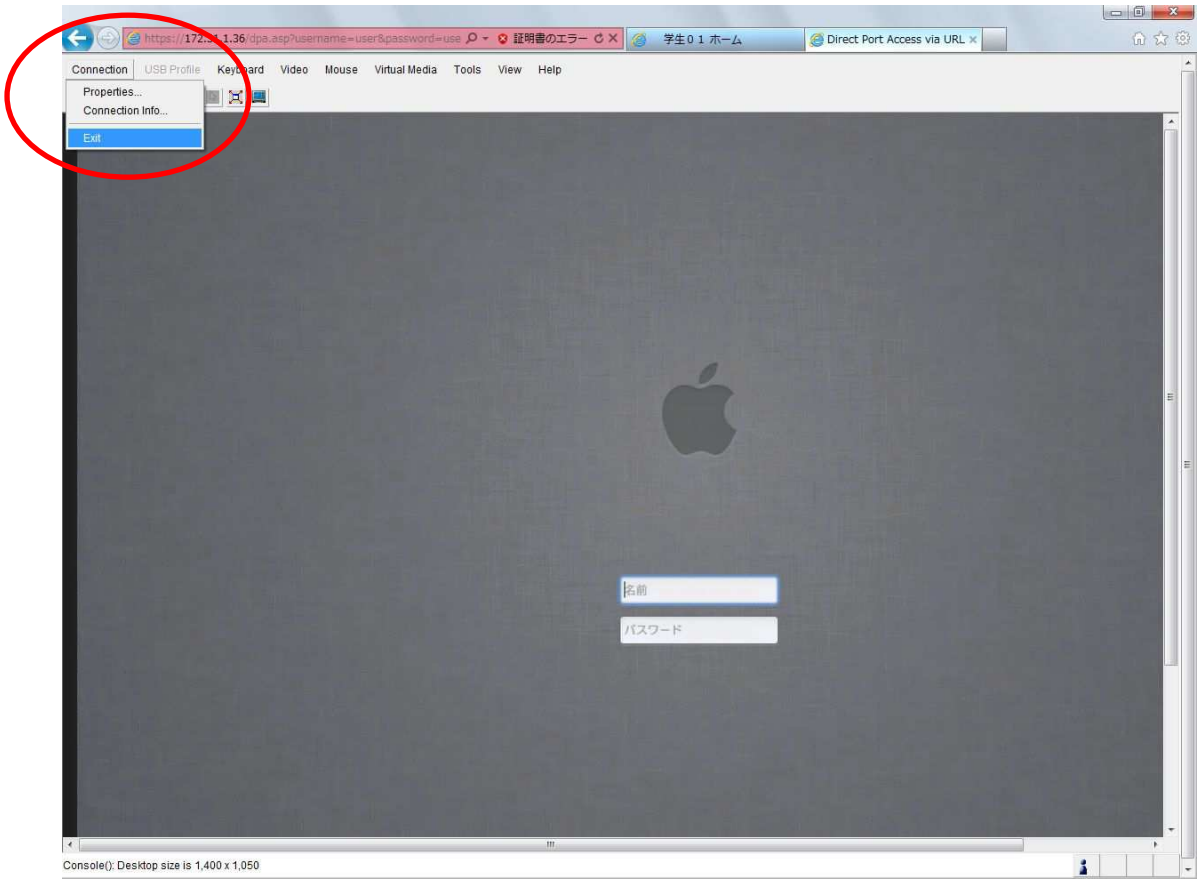


⑤　リモートデスクトップ接続を終了する際は、かならずログオフをしてください。
リモートデスクトップを行っている Mac の終了ボタンを利用した終了では問題が発生する場合があります。



⑥　ログアウト後「Connection」メニューから「Exit」を選択して終了してください。

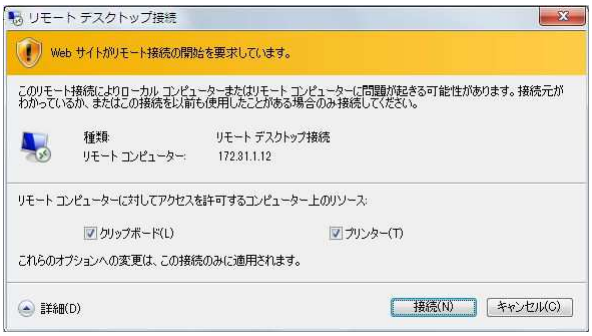



以上で Mac のリモートデスクトップは終了です。

## 6.5.　リモートデスクトップ接続の開始と終了（Linux 編）

①　リモートデスクトップクライアントの画面サイズを選択して、「接続」ボタンをクリックします。

②　リモートデスクトップ接続ダイアログのデバイス（リソース）にチェックを入れて、「接続」ボタンをクリックします。




③　リモートデスクトップログオン画面が表示されます。

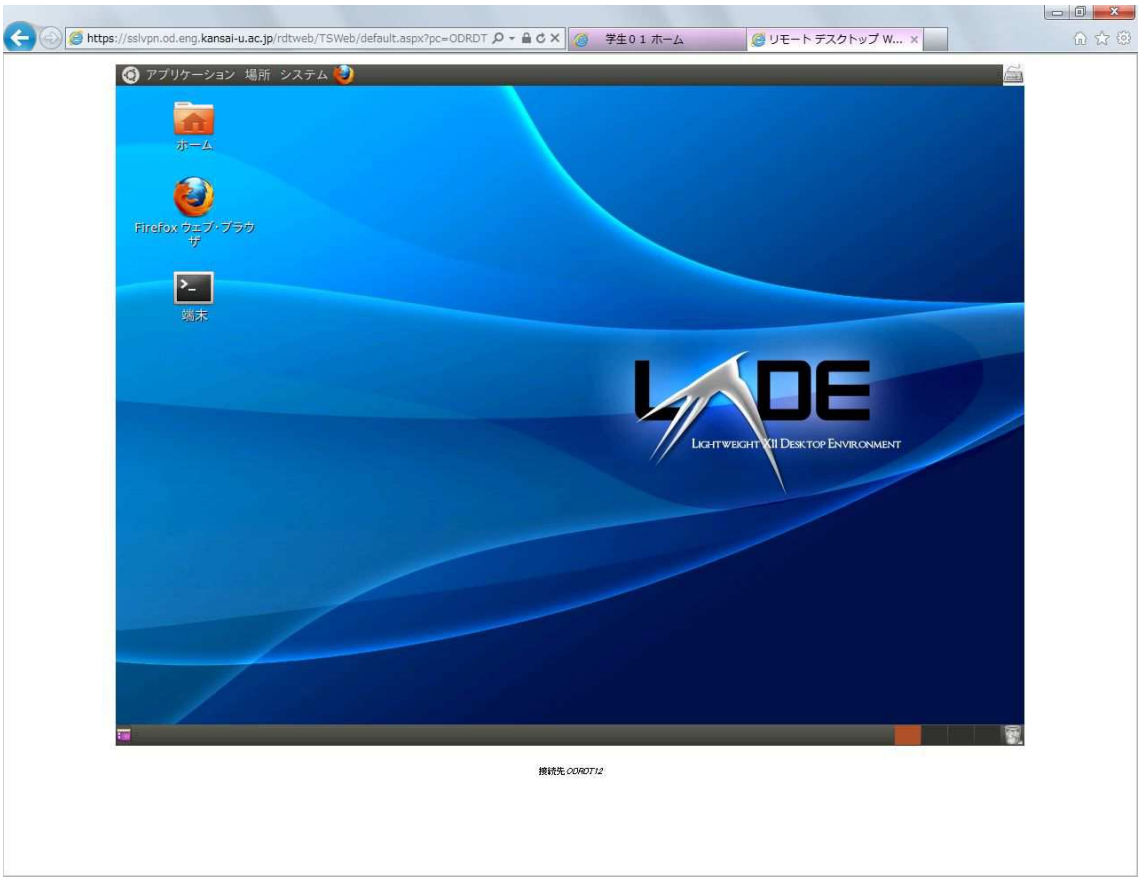
以下の作業を行ってください。

(1)　「username」に、OD 教室で利用するユーザ名を入力してください。

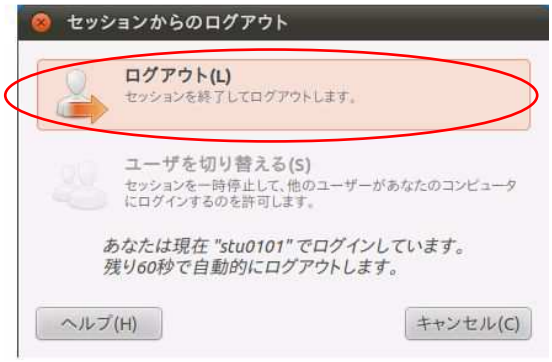
(2)　「password」に、上記ユーザー名のパスワードを入力してください。

(3)　「OK」ボタンをクリックして下さい。

④　ログオン認証に成功するとリモートデスクトップが開始されます。
リモートデスクトップ接続をしている状態では、ODLE システムで利用できるすべての作業が可能です。




リモートデスクトップ接続を終了する際は、かならずログアウトをしてください。
リモートデスクトップを行っている Window の終了ボタンを利用した終了では問題が発生する場合があります。（Windows システム自体の仕様となっています）




以上で、リモートデスクトップの利用手順は終了です。

## 7.　パスワード変更手順

### 7.1.　パスワード変更

ODLE システムにログインするためのパスワードを変更することが可能です。
本人のパスワードのみ変更が可能です。

パスワード変更のためには、変更前のパスワードを入力する必要があります。
パスワードを忘れてしまった場合は、パスワード初期化を行う必要があります。

| |
|---|
| 自分のパスワードを忘れてしまった場合は、ＩＴセンター４階 利用者相談コーナーに学生証を持参し、パスワードの再発行を依頼します。１時間以内に再発行したパスワードがＯＤ教室で使用できるようになります。<br>授業開始時にパスワードを忘れた場合は、先生に申告し、パスワードの初期化を依頼してください。 |

### 7.1.1. パスワード変更手順

パスワード変更を行う場合、まず「OD 教室トップページ」にアクセスします。

「OD 教室トップページ」へのアクセスは以下のようになります。

① 普段ご使用になられている Internet Explorer または Mozilla Firefox などの WEB ブラウザを起動します。(以降の説明は Internet Explorer を使用した場合のものです。)

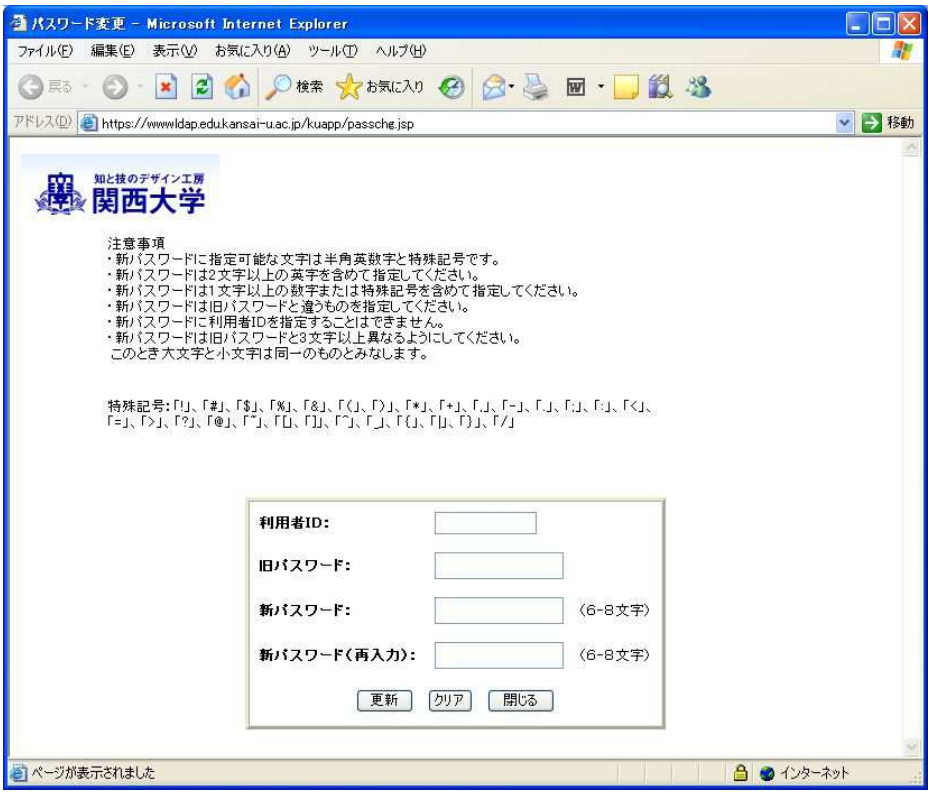
② Internet Explorer のアドレス欄に「OD 教室トップページ」の URL を入力し、Enter キーを押下または Internet Explorer の「移動」ボタンをクリックします。
OD 教室トップページの URL：
http://www.od.eng.kansai-u.ac.jp/

③ 表示されるトップページの左にある「学生」から「パスワード変更」をクリックします。

④　「パスワード変更」ページが表示されます。

⑤　パスワードを変更する利用者ＩＤ、現在のパスワード（旧パスワード）、変更したいパスワード（新パスワード、新パスワード（確認））を入力し、変更ボタンをクリックしてください。

※全項目入力必須です。




⑥　パスワード変更終了画面が表示されたら、パスワードの変更は完了です。
１時間以内にＯＤ教室パソコンのパスワードが変わります。

以上